

# 十勝 Tokachi Shimizu 清水

最高のぜいたく、育てています。



年末年始合併号  
386号

## 目次

- 02. すこやかファミリー  
大棕さんファミリー  
年頭ごあいさつ
- 07. 2024 北海道ホルスタインウインターフェア
- 08. 第25回 とかちの大収穫祭  
秋野菜即売会を開催しました  
無人ヘリコプター秋播小麦の雪腐病防除の農薬散布
- 09. JA青年部子ども農作業体験 ビート掘り体験  
清水町畑作レベルアップ研修会  
十勝クリーン大豆生産組合の大豆使用納豆が優秀賞受賞
- 10. 清水町で第7回国際土壌分類会議の野外巡検を実施
- 12. 無料年金相談会 / 経済部大感謝祭 他
- 15. 清水町蔬菜振興会白菜・キャベツ部会  
清水町養豚振興会から豚肉寄贈



Agricultural Cooperative Association Magazine

自然と環境 人と人とのつながりを大切にしています。

 十勝清水町農業協同組合



# 令和7年の年頭にあたり

十勝清水町農業協同組合  
代表理事組合長 今野 典幸



組合員並びにご家族の皆様におかれましては、益々ご健勝の事とお慶び申し上げます。

令和7年を迎えるにあたり、皆様にご心より新年のご挨拶を申し上げます。昨年の通常総会を経て、当農協理事会の互選により私が代表理事組合長に就任いたしました。私の職務に対して、「精励恪勤」精一杯の努力をもって誠実な職務全うを胸に、地域の皆様と共に持続可能な農業の実現に向けて邁進してまいります。

清水町農業の持続的発展、安定的農業経営の確立など私の果たすべき使命を重く受け止め、与えられました役職を全うし、皆様方のご期待にお応えすべく微力ながら職務に全力を傾注する覚悟であります。何卒、今後とも倍旧のご指導ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

昨年は、農業を取り巻く環境が非常に厳しいものでした。円安や資材の高騰、さらには世界各地での紛争が影響し、農業生産費が逼迫する中で、私たち農業従事者は多くの困難に直面しました。特に、資材の価格上昇は農業経営に大きな影響を及ぼし、私たちの生産活動を圧迫してい

ます。また、世界的な情勢の不安定さが続く中で、食料の安定供給がますます重要な課題となっております。こうした厳しい状況の中でも、私たちは持続可能な農業の実現に向けて、地域の皆様と共に力を合わせて取り組んでいく所存です。

改正された農業基本法は、持続可能な農業の推進や次世代の農業者の育成、地域振興、農業生産基盤拡充、国内食料生産維持・強化を目的とした重要な法律です。この法律に基づき農業生産基盤の拡充を図り、地域の特性を活かした農業の振興を進めることが求められ、特に次世代を担う若い農業者の育成は、地域の未来を築く上で非常に重要です。

また、コロナ禍が収束しその経験から、私たちの経済活動や消費動向にも大きな変化が見られました。一般消費者の皆様が消費行動が変化し、地元産品への関心が高まる一方で、外的要因による不安も影響を及ぼしています。このような状況の中で、私たちJA十勝清水町は地域農業振興計画のもと持続可能な農業の実現に向けて努力を続けていかなければなりません。



中熊牛2  
おみむく なぎさ  
大椋 渚咲ちゃん (2歳10ヶ月)  
写真右は蒼空ちゃん

～お母さんからのメッセージ～

いつもニコニコしていて疲れを  
いやしてくれる渚咲  
ヤンチャで大変なこともたくさんあるけど  
渚咲のペースで成長して  
どんな女の子になっていくのか1910ママ  
楽しみにしてるよ♡

すこやかファミリー

お菓子とミニオンが大好きな渚咲ちゃん！最近のマイブームは、お人形のメルちゃんでお母さんが蒼空ちゃんにしていることを真似することだそう！

子育てについて何ったところ、「渚咲は、ご飯を食べる・食べないの波が激しく、何を食べさせようか毎日悩まされています。最近ではトイレのタイミングを覚えてくれるようになり、成長を感じています！妹ができて少しずつお姉ちゃんらしくなり、私が困っているときには助けてくれます！」と教えていただきました。

- おとうさん 大椋 陽平さん
- おかあさん 和香菜さん
- いもうと 蒼空さん
- 祖父 正善さん
- 祖母 郁恵さん

## 迎春

最高のぜいたく、育てています。



- 代表理事組合長 (敬称略・順不同) 今野 典幸  
専務理事 口野 靖明  
常務理事 秋野 勝由  
特認理事 須田 茂隆  
特認理事 中村 義学  
理事 玉川 晴学  
理事 新居 雅彦  
理事 堀 俊人  
理事 高田 大槻  
理事 二ツ山 守  
理事 細野 輝行  
理事 佐藤 博志  
理事 大石 英昭  
理事 野尻 崇悦  
常勤監事 山口 雅之  
参事 富樫 和一

- (地区営農集団)  
上清水地域振興会 会長 北岡 雄三  
字清水協議会 会長 斉藤 孝司  
下佐幌地区推進協議会 会長 森 智教  
下人舞地域振興会 会長 白石 哲也  
人舞地域振興会 会長 内田 誠  
北熊牛連合会 会長 丸山 尊裕  
熊牛地域連合会 会長 玉井 正司  
松沢連合会 会長 箕浦 義和  
美蔓地区連合会 会長 宮川 光洋  
御影地域連合会 会長 小竹 浩之  
羽帯地域連絡協議会 会長 松下 敏行  
上羽帯地区推進協議会 会長 青井慎一郎  
旭山地域振興協議会 会長 斉木 孝明  
(生産組織)  
農業機械部会 会長 高田 秀昭  
酪農部会 会長 大槻 悟  
農産部会 会長 新田 茂生  
(酪農・畜産)  
清水町養豚振興会 会長 青木 賢一  
清水町ホルスタインクラブ 会長 小坂 洋平

- 十勝清水町肉牛振興会 会長 藤谷 竜也  
十勝若牛生産組合 会長 吉田 哲郎  
清水町ジュニアホルスタインクラブ 会長 橋本 和博  
デイリーフオールーム95 会長 藤井 稔  
(農産・そ菜)  
下佐幌地区養豚センター利用組合 組合長 中村 茂隆  
御影地区養豚センター利用組合 組合長 土橋 光徳  
美蔓地区養豚センター利用組合 組合長 那須野裕一  
清水町種子馬鈴薯採種組合 組合長 岸田 福伸  
清水町豆類種子生産組合 組合長 梶山 貴史  
清水町秋播小麦採種組合 組合長 佐藤 浩史  
清水町馬鈴薯生産組合 組合長 梶山 貴史  
清水町野菜振興会 会長 吉野 進  
十勝クリン大豆生産組合 組合長 中村 勲  
(一般)  
清水町農民連盟 委員長 高田 秀昭  
清水町農村連盟 委員長 小竹 浩之  
ホクレン原料所 所長 今野 隆也  
JA十勝清水町青年部 部長 鈴木 堅士郎  
JA十勝清水町女性部 部長 西山 幸子  
JA十勝清水町 部長 ほか役員 同  
ほか役員 同



昨年を振り返りますと、酪農については、国内・インバウンド需要の回復はあるものの、尾を引くコロナ禍の影響や歴史的な円安、全体的な物価高騰の影響により全国的に飲用向けは前年を下回っております。乳製品向けを増加した中で、バター需給については不足に対し緊急的な追加輸入を行うも、脱脂粉乳需給については需給バランスが依然として改善されず全国協調対策事業を活用した中で在庫対策を進めている状況下にあります。

昨年の全道生乳生産につきましては、令和6年度の生乳生産目標数量について「生産抑制から脱却し生産基盤の回復」と「バター需要に応じた生産」とした目標数量が決定され、全道で「403万t」の目標が立てられております。

町内生乳生産につきましては、天候に恵まれ粗飼料生産も概ね順調で推移した要因もあり、一部では夏場の猛暑の影響はありましたが、生産者皆様の生産に対するご理解とご協力により、目標数値の近似値(前年比103.1% 11月末時点)で推移しております。

令和7年度に向けては、全道で「403.8万t」と生乳供給量の目標が、加工品種全体としては平年を上回る収量となりました。豆類につきましては、天候に恵まれ播種作業は順調に進み出芽も良好となりました。出芽後も気温・日照時間が平年より高く推移し、開花期も早まりました。大豆・小豆は収穫作業も天候に恵まれましたが、いんげん類は生育中の干ばつと収穫時の降雨の影響で低品質低収量となりました。大豆・小豆の品位はともに平年並みで、反収については大豆が豊作、小豆は平年並みの収量となりました。アスパラガスは、4月中旬の適度な気候条件により、平年並みの4月下旬の収穫スタートとなりました。しかしながら、ゴールデンウィーク後には遅霜・強風・低温により収穫量が増えない中で終盤を迎え、前年を下回る出荷量となりました。販売単価に關しましては、全道的な供給量不足から年々単価が高騰している状況です。ブロッコリーは、前年同様6月中旬より収穫開始となりました。8月中旬からの高温多雨により全道的に病害が発生しましたが、町内は早期防除により一部圃場の被害で収まりました。また、全道的な作

見通しやバターの安定供給を踏まえた目標数量が決定されております。今後に向けて乳価交渉を始め、加工補給金の継続・拡充と共に、生産資材高騰への支援、生乳需給安定対策の仕組みの導入など、安定した生乳生産への取組みに係る対策の構築に期待したいところであります。個体販売につきましては、生乳生産は増産傾向にあるものの、生産コストの高騰など酪農情勢の回復が進まない中で、昨年末の販売価格はやや上昇しておりますが、年間を通しての販売価格は依然として低い状況下にあります。

肉用素牛についても、飼料価格が史上最高水準にあることから生産費上昇による肥育・素牛農家の導入控え、また猛暑の影響による分娩時期のずれによる出生頭数増加の要因もあり、販売価格は前年と同水準で推移しております。枝肉価格につきましては、移動制限解除から国民の外食需要、またインバウンド需要の回復もありですが、物価高騰の影響もあり1年を通し軟調で推移しました。牛肉消費については、国の新たな対策や需要の回復に期待するところであります。

付面積の増加と各産地ともに潤沢な収量であったことから、市場価格は前年を下回る結果となりました。白菜は、前年の天候不良による不作から作付面積が減少した中でスタートしたことに加え、昨年も高温の影響による芯腐れ等の病害が発生し、町内全体で約4haを廃耕、出荷量は前年を更に大きく下回る結果となりました。市場価格は、収穫後期の府県産出荷との競合により前年をやや下回る結果となりました。にんにくは、根雪が遅かったことから凍害の影響を受けた圃場が多く、総体的に小玉傾向となり、入荷量は前年の88%となりました。品位はM規格中心となりますが、引き合いが強いことから、有利販売に努めてまいります。

農産物として、秋まき小麦につきまして、播種作業は順調に進み出芽後の生育は十分に確保され根雪を迎えることができました。融雪期は平年並みでしたが、その後の平均気温が高く推移し、出穂期・成熟期は平年より早まり収穫作業も平年より早く終了しました。品位については、一部細麦となりましたが、収量は平年を若干上回り製品反収はきたほなみ8.93俵、ゆめちから9.83俵、はるきらり7.80俵(全品種1等Aランク)となりました。

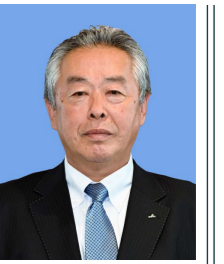
てん菜につきましては、播種作業・移植定植作業は平年並みとなりました。生育はやや緩慢に推移しましたが、根部の肥大は順調に生育しました。7月下旬から町内で一部褐斑病が発生しましたが、生産者の防除の徹底により、反収6.49t、糖分16.3%と平年を上回る糖収量が見込まれております。

馬鈴しょにつきましては、植付作業は平年並みに始まり生育期間中は干ばつで、7月中旬〜下旬の高温により早生系品種は早く枯れ上がり収量減となりました。8月上旬〜中旬にかけ雨量が多く、中生晩生の一部品種では二次成長が見られました

より協同組合の果たすべき役割を再度考え直し、原点である相互扶助の継承、組織力、事業集結力を実現させるため、対話を通じた信頼関係により将来強固な農業協同組合を構築すべく積極的な活動を展開して参ります。また、当農協事業を支えている正組合員のほか、準組合員の皆様方の制限内での一定の事業量利用によっても運営されています。農業・農畜産物を通じて地域社会の発展、地域住民との積極的な関係づくりがこれから益々の組織発展、地域貢献へ寄与する取り組みとして考えなければなりません。ゆえに、農協に課せられた使命、期待、地域の主軸団体としての責務、基幹産業の農業・農業者の発展へ役職員一丸となって取り組んで参ります。







令和7年の年頭にあたり  
北海道農業協同組合中央会  
代表理事会長 樽井 功

新年あけましておめでとうござ  
います。

組合員の皆様におかれまして  
は、日々営農に更に邁進されてお  
られること存じます。

また、組合員・役職員の皆様が  
一丸となり地域農業の振興や地域  
社会の発展に向け、日頃より多大  
なご尽力をされていることに対し  
まして、改めて敬意と感謝を申し  
上げる次第であります。

昨年の北海道農業については、  
春先から天候に恵まれ、各作物の  
生育は全般的に平年よりも早く進  
んでおりました。しかしながら、  
夏場は猛暑・豪雨による記録的な  
高温多湿の影響を受け、各作物等  
の収量および品質に影響が出た年  
となりました。

近年、気候変動等による自然災  
害の多発や栽培適地の変化、国際  
紛争や急激な円安の進行による飼  
料・肥料をはじめとした生産資材

の高止まりが農業経営に甚大な影  
響を与えており、農業・農村を取  
り巻く環境は一段と厳しさを増し  
ております。

昨年には、四半世紀ぶりに食  
料・農業・農村基本法が改正さ  
れ、現状に即した基本理念の見直  
しと、「食料安全保障の抜本的な  
強化」、「環境と調和のとれた産業  
への転換」等の実現が盛り込まれ  
ました。政府は、初動5年間を農  
業構造転換集中対策期間と位置づ  
け、施策を集中的に実行すること  
もに、今年3月に食料・農業・農  
村基本計画を策定するべく引き続  
き検討を進めております。

J Aグループ北海道としては、  
食料安全保障の強化と持続可能な  
北海道農業の確立のために、農地  
の確保および適正利用の強化、食  
料・自給飼料等の安定生産・供給  
と環境負荷軽減の両立に取り組み  
ながら、それを後押しする力強い

政策支援を求めていくことが重要  
と考えております。

また、昨年は第31回J A北海道  
大会が開催され、「食料安全保障  
の強化と持続可能な北海道農業の  
確立」、「J Aの組織基盤の強化と  
健全な経営基盤の確立」、「アグリ  
アクション北海道の推進による農  
業・食・J Aへの理解醸成」の3  
つの議案を決議いたしました。

今後、議案の達成に向けて、組  
合員・J A・連合会が一丸となっ  
て、生産現場の行動変容と組合員  
の意思結集による農政運動、J A  
の経営管理の高度化やデジタル化  
の推進による業務効率化・生産性  
向上に取り組んでいかなければな  
りません。

さらに、消費者の皆様には、J  
Aグループ北海道統一の情報発信  
のフレーズである「アグリアク  
ション北海道」を浸透させると  
もに、効果的な情報発信により、

今まで以上に農業・食・J Aに対  
する理解を深めていただき、J A  
グループが提唱する「国消国産」  
の認知を広げてまいります。

結びになります。本年は巳年  
です。巳（へび）は冬眠から目覚  
め地上に這い出すことから、冬に  
根をはった草木が芽を出し「新し  
い種子が生まれる」という意味が  
あると言われ、転じて、巳年は力  
を蓄えていたものが芽を出す「起  
点」の年、脱皮する特性と併せ「再  
生と誕生」を意味する年だと言わ  
れています。

この謂われにあやかり、本年が  
北海道農業の飛躍の起首となるこ  
と、皆様の「ご多幸とご健勝を」祈  
念申し上げ、年頭のご挨拶といた  
します。

2024  
北海道ホルスタイン  
ウインターフェア

とき：10月26日  
ところ：十勝農協連家畜共進会場

10月26日、十勝農協連家畜共進会場  
(音更町)で、2024北海道ホルスタ  
インウインターフェアが開催され、全道  
各地から239頭のエントリーがありま  
した。清水町からは経産牛3頭、未経産  
牛9頭の計12頭が出場しました。  
STジャパン(株)ゼネラルマネー  
ジャー福屋茂生氏を審査員に迎え、ク  
ラス別に審査が行われました。

清水町の出場牛からは、第10部シニ  
ア2歳クラス(有)田中牧場出品のT  
MFナダルラムダムキシムムアンナ  
エコー号が1位に輝きました。清水町  
からの出場結果は下記の通りです。

また、後継者育成事業としてリードマ  
ンコンテストへの参加枠が全国の学生へ  
も広がり、道内41名、道外(京都府・熊  
本県・宮崎県)8名の計49名が参加しま  
した。高校3年生以上の部で1位に田中  
一颯氏、4位に鈴木琥太郎氏、5位に成  
松舞衣氏、6位に十河三志郎氏が輝き、  
清水町から出場した4名全員が入賞しま  
した。福屋氏から参加した各リードマン  
へ、その場で具体的な指導・説明が行わ  
れており、それぞれが真摯に聞き入っ  
ている様子が見てとれました。





# 第25回 とかちの大収穫祭 帯広十勝のシェフが お届けする十勝の味覚

とき：10月28日  
ところ：北海道ホテル（帯広市）

10月28日、北海道ホテル（帯広市）にて第25回とかちの大収穫祭「帯広十勝のシェフがお届けする十勝の味覚」が開催されました。

おいしい十勝グルメフェスタにて、当JAブランド『十勝若牛』と『十勝清水にんにく』が『十勝若牛フィレ肉のローストにんにくのビュレ添え』、『十勝若牛ロース肉のハーブカツレツ』として参加者に振舞われました。参加者からは「美味しい！」とお声をいただき『十勝若牛』と『十勝清水にんにく』の魅力を発信することができました。

他にも、十勝の食材を使った料理が多数振舞われ、フードバレーとかち推進協議会からは十勝産食材を使ったレシピ集も配布され、大変賑わっていました。  
なお、当イベントは全日本司厨士協会帯広支部の主催で帯広市が推進するフードバレーとかちと連携し、生産者と消費者が料理を通じて結びあうことを目的に開催されています。



# JA青年部 子ども農作業体験 ビート掘り体験

とき：10月30～31日  
ところ：松原貴寛氏圃場  
土井厚毅氏圃場

10月30日と31日の両日に渡って、JA青年部（鈴木堅士郎部長）は、子ども農作業体験事業の一環としてビート収穫体験を清水・御影両小学校3年生を対象に行い、同部員15名が参加しました。子ども農作業体験は、町の基幹産業である農畜産業への理解と食育を目的に毎年行っています。

まずは、ビートの手掘り体験を行いました。掘る作業から運ぶ作業までの一連の作業を担い、収穫の楽しさや運ぶ時の大変さを実感してもらったことができました。次に、ハーベスターの説明と実際に稼働している様子の見学です。子ども達は機械の収獲スピードに驚き、目を輝かせながら見ており、機械の後を追って走り出す子も見られました。  
質疑応答では、ビートの生態や歴史などについて様々な質問が挙がり、ビートの花について質問があった際には写真を用いて分かりやすく解説していました。



# 秋野菜即売会を 開催しました

とき：11月3日  
ところ：本所 駐車場

11月3日、本所駐車場にて秋野菜即売会を開催し、清水町産の白菜・にんにく・黒にんにく・ジャガイモ・キャベツ・ごぼう・大根・ねぎなどを販売しました。

今年も多くの方にお越しいただき、販売開始時間30分前から長蛇の列となっており、特別価格であったことから大盛況のなか完売となりました。来場された方は、「お目当ての野菜をたくさん買えました！」と笑顔で両手いっぱい野菜を抱えていました。



十勝清水

# 清水町畑作 レベルアップ研修会

とき：11月20日  
ところ：伊藤旭氏圃場

11月20日、下佐幌1 伊藤旭氏圃場にて清水町営農対策協議会 農産部会主催の清水町畑作レベルアップ研修会が開催され、25名が参加しました。

十勝農業改良普及センター十勝西部支所 酒井悠貴専門普及指導員から秋播き小麦の高品質多収栽培のための輪作体系・土づくり、播種作業・播種時期・播種量、病害虫防除のポイントについて説明がありました。

参加者からは、伊藤氏へ各作業の重要性や病害対策などについて質問があり、活発で有意義な研修会となりました。



# 無人ヘリコプター 秋播小麦の雪腐病 防除の農薬散布

とき：11月6～7日  
ところ：小麦圃場

11月6日から7日、秋播き小麦の雪腐病防除のため、無人ヘリコプターによる農薬散布を取りまとめに当たっていました。

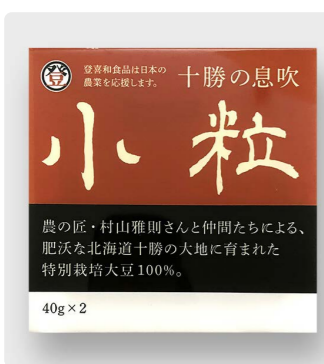
無人ヘリコプターは、遠隔操作のため天候不順等でも晴れ間をぬいながらの作業が可能です。圃場条件不問で防除できます。良質小麦生産に向け、収穫までの各種管理作業の効率化に寄与して参りますので、本年度同様ご理解・ご協力をお願いいたします。



# 十勝クリーン大豆 生産組合の大豆を 使用した納豆が 優秀賞受賞

11月22日、第28回全国納豆鑑評会にて十勝クリーン大豆生産組合（中村勲組合長）の『スズマルR』を使用した（株）登喜和食品の納豆『十勝の息吹小粒2P』が農林水産省大臣官房長賞（優秀賞）を受賞しました。当鑑評会は全国納豆協同組合連合会が主催し、日本が世界に誇る総合栄養食である納豆の日本一を決めるコンクールとして毎年開催されており、今回は187点が出品されました。

数ある納豆の中から当組合の大豆を使用した納豆がこうして受賞したことは大変喜ばしく感じるとともに、更なる良品質を目指し邁進して参ります。



△十勝の息吹小粒2P  
（株）登喜和食品 H P より引用  
<https://www.tokiwa-syokuhin.co.jp/>



# 清水町で第7回国際土壌分類会議の 野外巡検を実施

## 世界の土壌断面マニアが集結して大興奮

帯広畜産大学 グローバルアグロメディシン研究センター  
教授 谷 昌幸氏

1968年大阪市生まれ  
1995年帯広畜産大学助手着任  
2015年から現職



### 第7回国際土壌分類会議とは

今回のコラムでは、清水町で2024年6月に実施した、第7回国際土壌分類会議の野外巡検について紹介します。私たち大学や研究機関の研究者は、「学会」と呼ばれる組織に所属しており、日本の土壌学者は「日本土壌肥料学会」で研究成果の発信などを行っています。

一方、世界中の研究者が集まる学会もあり、土壌学では世界土壌科学連合(International Union of Soil Sciences)という巨大な組織があり、4年に1回のペースで世界土壌科学会議(World Congress of Soil Science)が開催されます。世界中の土壌学を専門とする研究者が一堂に会して研究成果を報告し、世界の土壌について語り合うマニアの会合があるのです。

しかし、世界土壌科学会議はあまりにも巨大なため、土壌学の様々な分野ごとに、よりマニアックな会議が数年前おきに開催されており、その一つが土壌の分類に関する「国際土壌分類会議」というのがあります。第7回国際土壌分類会議(International Soil Classification Congress)が日本に誘致され、なんと十勝で開催することになったのです。

2024年6月4日と5日に、とかちプラザで会議が開催されたのですが、世界から集まった超マニアの本当のお目当ては会議そのものではなく、会議後の6日から8日に開催された土壌断面を観察する「野外巡検」にあるのです。

### 世界のマニアからすると非常にレアな黒ボク土

これまでのコラムでも紹介してきたように、清水町の畑地や草地には、火山灰からできた黒ボク土が広く分布しています。黒ボク土は、十勝にとっては最もポピュラーな土壌です。一方、黒ボク土は、世界の陸地のたった0.7%しか分布し

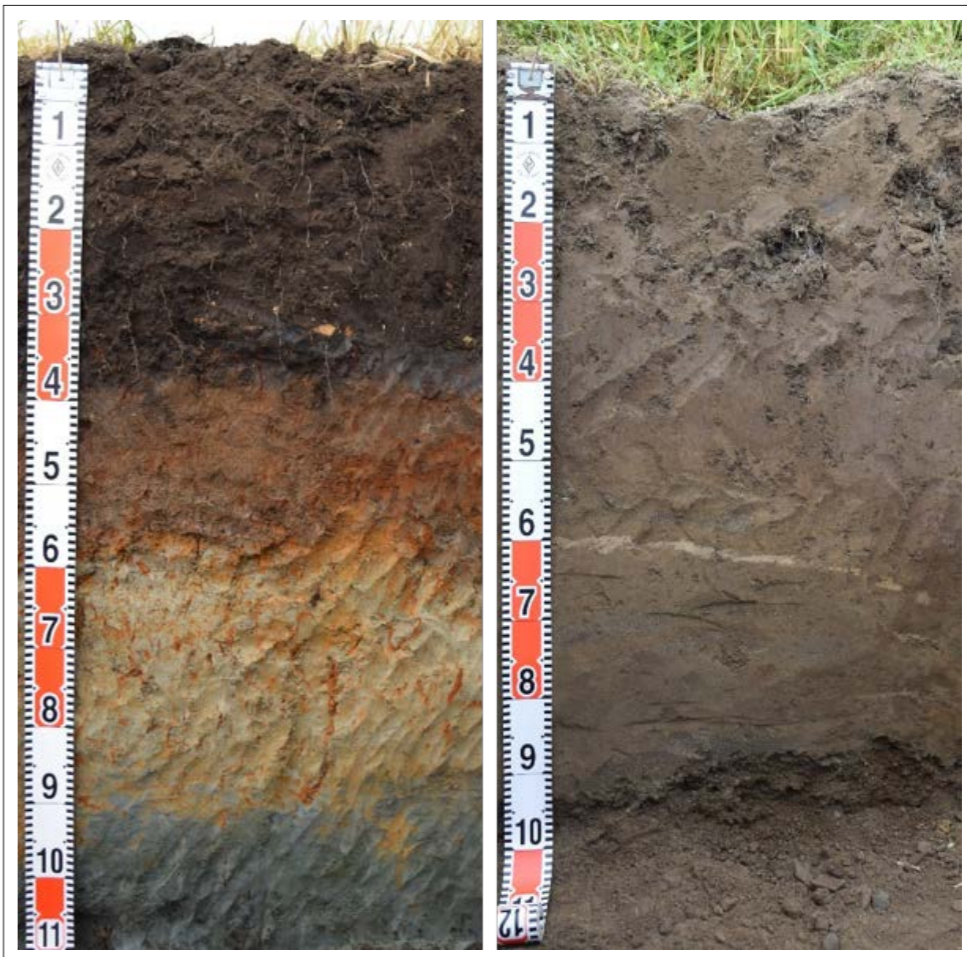


写真1 島山牧場の採草地で掘った多湿黒ボク土と村瀬農場のコムギ畑で掘った褐色低地土の土壌断面

今回の野外巡検では、これまでのコラムでも紹介してきた、清水町の河岸段丘に分布する低地の褐色低地土、そして中位段丘の黒ボク土を紹介することにしました。地形に応じて見た目や性質が全く異なる土壌が分布し、それらを理解した上で様々な農業生産が行われていることを説明しようと考えたのです。

これまでに土壌断面調査を行ってコラムでも紹介してきた、熊牛の島山幸博さんの採草地で多湿黒ボク土、松沢の村瀬博明さんのコムギ畑で褐色低地土の土壌断面を掘らせていただきました(写真1)。多湿黒ボク土の断面では、表層から深さ60cmまでに樽前山から飛んできた様々な火山灰が堆積し、その下には見事な管状斑鉄や青色のグライ層などが観察され、黒色、橙色、黄色そして青色の鮮やかなコントラストが印象的です。一方、褐色低地土の断面では、表層から深さ1mまで十勝川が上流から運んできた砂や粘土が堆積し、表層から下層まで排水性が良好で、色の変化ではなく粒径の変化が象徴的です。

### 世界の土壌断面マニアが飛び込んだ

島山牧場では、更新予定の採草地にコンボで巨大な穴を掘ってもらったこともあり、世界中から集まったマニアが次々に穴の中に飛び込んでいきました。アメリカ、カナダ、ドイツ、オランダなどの欧米から来たマニアはもち

ろん、韓国、台湾、中国などアジアのマニア、そしてブラジルや南アフリカから遠路はるばる来たマニアまで、参加者と主催者を合わせて60名以上。マニアが思い思いに断面を触り、土壌の成り立ちを語り合い、分類について話し合います(写真2)。ある意味で異様な光景ですが、多くのマニアにとっては初めてゆっくりと黒ボク土に触ることができたのです。草地管理や土壌改良についても、島山さんに多くの質問が飛んできました。

村瀬農場では、コムギ畑の一部を刈り取らせていただき、3名ほど入ることができた大きな穴を掘らせていただきました。黒ボク土と低地土の距離が近いにもかかわらず、まったく見た目も触り心地も違う断面にマニアは興味津々です。みんな自分のカメラで写真を撮りたくて、ちゃんと一列に並んでいます(写真3)。河岸段丘という地形により、これほどまでの違いがある土壌が分布することにマニアは質問が止まりません。マニアが一番驚いていたのは、村瀬さんが低地土の肥沃さを理解され、最小限の施肥管理で作物を栽培していることです。彼らにとって、黒ボク土と低地土の見た目だけではなく、リン酸吸収係数や陽イオン交換容量が著しく異なることは大きな驚きであり、それを理解して生産者の方々が栽培管理をされていることも衝撃だったようです。

### 世界のマニアが清水町の土壌を堪能

今回の野外巡検では、マニアたちが土壌の分類を話し合うことも大きな目的です。島山さんと村瀬さんのいずれの土壌断面でも、作土層の塩基飽和度がお二人の管理によって60〜80%に改良されていたため、なぜ日本の土壌なのに塩基飽和度が低いのか、これは黒ボク土や低地土ではなくてチエルノーゼムに近い肥沃な土壌ではないのかなど、様々なマニア特有の熱い議論が交わされていました。土壌に向き合う生

産者の方々の努力も理解してもらえたのかもしれません。当日は好天にも恵まれ、マニアたちは素晴らしい断面を見て、触って、語って、すべてが楽しかったようで、全員が満面の笑みです(写真4)。世界のマニアが清水町の土壌を十二分に堪能したようです。本当に素晴らしい断面を紹介させていただいたお二人、そしてJA十勝清水町の関係者の皆様にも感謝です。世界のどこかの論文で清水町の土壌が紹介されることも増えそうです。



写真3 村瀬農場のコムギ畑に掘った低地土の土壌断面の写真を撮影したくて列に並ぶ世界のマニアたち

写真2 島山牧場の採草地に掘った巨大な土壌断面に群がって思い思いに土壌を触る世界のマニアたち



写真4 色鮮やかな土壌断面と一緒に参加者、主催者、関係者全員で記念写真



## 無料年金相談会

とき…11月13日  
ところ…本所 談話室

11月13日、当JA本所にて無料年金相談会を開催し、6名の方にご来場頂きました。

当日は、社会保険労務士の高松裕明氏を講師としてお招きし、ご来場者様お一人おひとりの相談に合わせたアドバイスを頂きました。

各年金の受給要件や年金請求書の記入方法や手続きの方法、どの年金をどのタイミングで請求すると損をしないかなど、多種多様な相談があり、会場では和やかな雰囲気且つ真剣に相談が行われていました。

年金相談会の詳細については、本所信用貯金課または御影支所管理金融までお気軽にお問い合わせ下さい。



《お問合せ先》  
JA十勝清水町  
本所 信用貯金課  
TEL 0156-62-2133  
御影支所 管理金融  
TEL 0156-63-2321

十勝清水

## 令和6年度経済部大感謝祭

とき…11月14～15日  
ところ…生産資材倉庫・資材店舗前駐車場

日頃の経済事業へのご利用・ご協力に対し感謝の意を込めて、生産資材倉庫と資材店舗前駐車場にて令和6年度経済部大感謝祭を11月14日・15日の両日に渡り開催しました。

当日は、各社から自動車・カー用品・バッテリー・ガス器具・ストーブ・トラクター・作業機・工具類・焼却炉・除雪機・消耗品等の大特価商品を多数取り揃えました。

また今年度は、当JAから『十勝若牛の焼きしゃぶ』や十勝清水にんにくを使用した加工品の販売、十勝清水フードサービスから『十勝若牛焼きそば』『十勝若牛もつ煮』の販売を行いました。他にも、家電フェアなど盛沢山の内容となりました。

多くの方にご来場いただき、大感謝祭は盛会裏に終了しました。



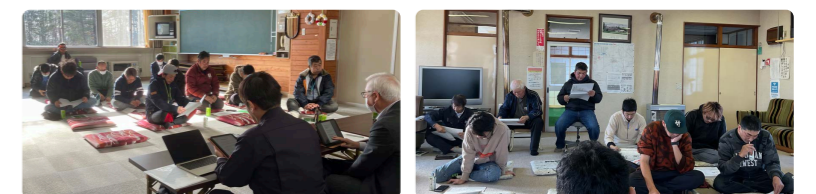
## JA十勝清水町 地域別懇談会

とき…11月26～28日  
ところ…各地域福祉館

11月26日から28日の3日間、JA十勝清水町地域別懇談会を各地域の福祉館で開催しました。

今回は、例年通り10会場を2班編成で各集団への訪問の形を取って実施しました。

JAからは、地域別懇談会案（左）に沿って説明し、組合員の皆様からの質疑についても具体的に説明を行いました。



JA十勝清水町 地域別懇談会  
開催期日 令和6年11月26日～28日  
開催場所 各地域福祉館

1. 開会挨拶
2. 議案
  - 1) JAコネク트의組合員周知
  - 2) 畑作情勢（小麦等の各品目概算金等）
  - 3) 酪農情勢並びにJAブランド支援対策
  - 4) 各種購買品情勢
  - 5) 職員労働環境
  - 6) 退職職員訴訟における和解金支払い
  - 7) サツドラ地域連携企業「特別優待割引」
  - 8) その他

十勝清水

## 理事会の動き

第8回 11月19日開催

### ○付議事項

- ・信用事業方法書の一部変更
- ・組合と理事との利益相反取引（信用貯金課）
- ・組合と理事との利益相反取引（経営所得安定対策）
- ・令和6年度農業年度対策費の支出
- ・地域別懇談会への提出議案

### ○報告事項

- ・組合員の加入及び脱退
- ・固定資産取得完了報告（管理部）
- ・令和6年度 豆類の集荷状況
- ・令和6年度 にんにく共計概算金の取進め
- ・令和6年度 野菜主要3品の取扱状況
- ・土壌病害虫対策事業の状況
- ・生乳受託販売委員会の報告
- ・生乳出荷、乳質状況

### ○協議事項

- ・西十勝農業センター再編
- ・職員労働環境について
- ・令和5年度 澁原馬鈴薯共計2次概算の取進め
- ・令和6年度 食用・加工馬鈴薯共計概算金の取進め
- ・令和6年度 てん菜の出荷状況
- ・令和6年度 てん菜全道共計概算金
- ・令和6年度 てん菜貯蔵手当年内支払
- ・令和6年度 交付金大豆の調整方針
- ・令和6年度 小麦品種格付け係数（個別配分）の設定
- ・令和6年度 小麦品代概算金
- ・令和6年度 小麦タンパク格差金

第9回 12月26日開催

### ○付議事項

- ・令和7年度 営農計画基準単価設定
- ・令和5年度 生乳販売対策費平準化見直しに伴う生乳代金の追加精算
- ・令和7年度 農業年度奨励対策
- ・西十勝農業センター再編
- ・農産物処理加工施設事業再編
- ・出資金の一部譲渡

### ○協議事項

- ・地域別懇談会の意見集約

### ○報告事項

- ・組合員の加入及び脱退
- ・令和6年度 小麦2次概算
- ・令和5年度 小麦全道共計本精算
- ・令和5年度 大豆全道共計本精算
- ・令和4年度 澁原馬鈴薯本精算
- ・令和5年度 にんにく共計本精算
- ・令和6年度 てん菜生産量実績
- ・令和6年度 豆類の集荷状況
- ・生乳出荷、乳質状況
- ・令和6年度 農協取扱高調査

十勝清水

## JA職員の人事発令について

令和6年12月1日付け職員の人事発令を、下記のとおり行いました。

新採用職員

農産部 農産課（嘱託職員）

石澤 慎也

パート職員から嘱託職員に転換

農産部 農産課（嘱託職員）

福田 正志

十勝清水





△写真左から、  
 蔬菜振興会 白菜・キャベツ部会 近藤 裕樹部会長、  
 清水町学校給食センター 佐藤 一成所長、佐藤 新  
 之介主査、農産部 竹中 秀雄職員

白菜は、8日に『親子うどん』、11日に『ごまみそ和え』、13日に『すき焼き風煮』として提供されました。

**清水町蔬菜振興会  
 白菜・キャベツ部会**  
 とき：11月7日  
 ところ：清水町学校給食センター

11月7日、清水町蔬菜振興会 白菜・キャベツ部会（近藤 裕樹部会長）は清水町学校給食センターへ白菜89kgを寄贈しました。

近藤部会長は、「町内の子ども達へ地場産白菜を届けられることはとても光栄に思う。自慢の美味しい白菜をたくさん食べてもらえると嬉しい。これからも子ども達のために、学校給食センターへの寄贈など様々な活動を行っていききたいと思う。」と話されました。



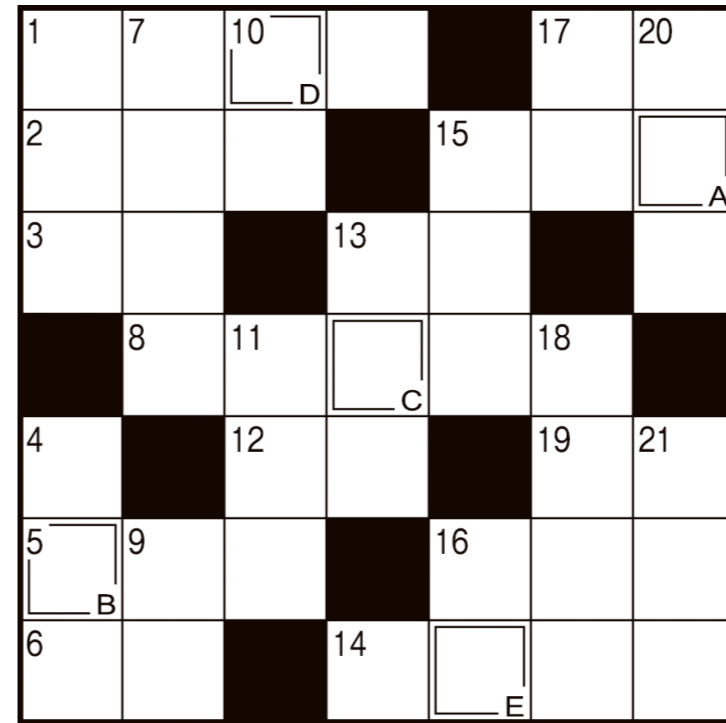
△すき焼き風煮



△ごまみそ和え



△親子うどん



クイズの答えを解答用紙に記入し、FAX送信するか直接JAにご持参ください。正解者の中から抽選で5名の方に記念品を差し上げます。ご応募お待ちしております。(締切1月24日)

11月号 (No.385) の答え  
 A B C D  
**「ホシガキ」**



→ ヨコのカギ

- 宝船の絵を枕の下に入れておくとよいものが見られるとか
- 窓を開けて取り込みます
- カード式のホテルもあります
- 中東の国のひとつ。首都はテヘラン
- きねと白でつくもの
- 「本の虫」と呼ばれることも
- 七草を入れて炊くことも
- 初詣で一年の——を祈った
- 「見通しがきく」ことを願っておせち料理に入れます
- マスカラを付けるところ
- 脊椎動物にはあります
- 「Rがつかない月には食べるな」といわれる貝
- 耳が冷えないようにイヤ——をつけた

↓ タテのカギ

- 年賀状をコレからSNSなどに切り替える人も増えました
- サトイモの親芋のまわりにできます
- コートなどに用いる毛織物
- ここで話していても——があかないから見に行こう
- しんしんと降り積もるもの
- 箱根駅伝は10——、計217.1kmで競います
- さんずい、うかんむりなど
- ほうきに乗って飛べるとか
- 10を3回かけ合わせると
- 縁起をかついで食べる受験生もいます
- おせち料理に入れる紅白の食材といえば
- チャールズ・チャップリンは——の王様です
- 可燃ではありません

**清水町養豚振興会から  
 豚肉寄贈**

とき：11月19日  
 ところ：清水町学校給食センター

11月19日、清水町養豚振興会（青木 堅一会長）は、清水町学校給食センターへ三好英一氏生産の豚肉30kgを寄贈しました。

当日は、清水町養豚振興会 三好副会長から清水町学校給食センター 佐藤 新之介主査へ手渡ししました。

寄贈した三好氏は、「生産者として地元の子どもたちに食べて貰えるのは嬉しく、生産者冥利に尽きます。お腹いっぱい食べて、健康に育ってほしいです。」と想いを語りました。

また、清水町学校給食センター 佐藤 一成所長からは、「明日の献立として考えた清水産豚肉のガーリックライス は、昨年子どもたちから好評だったので、また子どもたちの喜ぶ顔が目に見え、材料費が高騰している中、無償で食材を提供して頂き、本当にありがたく思っています。」とのコメントを頂きました。

翌20日には、さっそく学校給食で『清水産豚肉のガーリックライス』として味わってもらっています。



△清水産豚肉のガーリックライス



△写真左 清水町養豚振興会 三好 英一副会長  
 写真右 清水町学校給食センター 佐藤 新之介主査

表紙の写真は ....

新年あけましておめでとうございます。皆様にとってすばらしい一年になりますよう、心よりお祈り申し上げます。今年も様々な活動をお伝えできるよう広報誌作成に精進して参ります。どうぞ農協広報をよろしく願いたします。表紙は白鳥が飛び立つ瞬間の写真にしました。今年最初の広報表紙にピッタリですよ！

**11月号 (No. 385) あたまの体操 当選者発表**

当選者は 共 栄 森田 聖大さん 上清水2 橋本 歩美さん  
 東松沢 佐藤 洋さん 羽帯平和 那須野 梨紗さん  
 新羽帯 水野 美英子さん 5名です。

おめでとうございます。 十勝 清水





## 今月の「職員紹介」



いりえ だいと  
入江 大登 職員

### 最近の出来事

家にWi-Fiが繋がるようになりました。

#### ◆所属部署・担当業務

農産部 農産課 販売担当

#### ◆趣味

映画鑑賞

#### ◆自分はこんな人です

元気がある人です。

#### ◆上司からの一言（永原 伸哉 考査役 より）

2024年4月から採用となり、農産課では、主に豆類種子生産組合の事務局業務に携わっています。

社会人1年目で、入組後数か月は先輩と一緒に業務にあたることが多くありましたが、繁忙期には一人で圃場巡回、収穫状況確認、受入業務など真面目に一つ一つ業務に当たってくれています。

今後は、生産組合活動や事務業務が主となります。過去の取り組み方を踏まえ、自分なりにやり方・課題を見つけ、確認作業を徹底し、時には私たち上司や先輩を頼って、生産者の方々に信頼される職員となれるよう、これからも一緒に頑張っていきたいと思います。

来月の「職員紹介」は谷内 安慈 職員です。

十勝  
清水

## 今月のメニュー

おいしいミルクレシピ

### 煮汁まで飲み干せる、やさしい味 ミルクふろふき大根

#### 材料（2人分）

大根	8 cm (300 g)	}	牛乳	100 ml
にんじん	小1本 (100 g)		みそ	40 g
大根の葉	少量	B	砂糖	大さじ2
牛乳	300 ml		かたくり粉	小さじ1
A	水	}	こしょう	小さじ1/4
	みりん		大さじ1	ゆずの皮
	塩		小さじ1/4	
	豚ひき肉		100 g	

#### 作り方

- ①大根は2cm幅に切って皮をむく。にんじんは皮をむき、長さを半分に切って縦半分に切る。
- ②鍋に湯約1Lを沸かし、①を入れ、10分間ゆでる。煮上がり間際に大根の葉も入れてサッとゆで、ざるにあげて手早く冷ます。
- ③鍋にAを入れて中火にかけ、煮立つ直前に大根、にんじんを入れる。水で濡らした紙タオルで落としぶたをし、弱火にして20分間煮る。
- ④小鍋にひき肉を入れて広げ、そのまま中火にかける。半分ほど色が変わったら2分ほど炒める。Bを混ぜ合わせて加え、弱火でとろみがつくまでよく混ぜながら煮る。
- ⑤器に③をスープごと盛って④をかけ、②の大根の葉を添え、ゆずの皮のせん切りを散らす。



レシピ提供 一般社団法人「ミルク  
「ミルクレシピ」